



ふがくす
「富岳図」
しまざきぎょくえん
島崎玉淵筆
滋賀県立近代美術館蔵

令和元年8月28日	
資料提供	
担当課(室)	県立博物館
担当班・係	学芸課
担当者	学芸員 袴田舞
電話	073-436-8684(学芸課)

江戸絵画で日本の旅にでませんか。 企画展「真景図 一旅する画家が見た風景」を開催します！

和歌山県立博物館 〈8月31日(土)～10月6日(日)〉

江戸時代中期に入ると、街道の整備に伴い、人々の旅や実際の風景(=「真景」)への関心が高まります。画家たちは、実際の風景を目にした感動を盛んに描くようになり、「真景図」が流行しました。日本全国の美しい風景が広がる展示室で、旅する気分を味わっていただければ幸いです。

1. 主催	和歌山県立博物館
2. 会場	和歌山県立博物館 1階企画展示室 〒640-8137 和歌山市吹上1-4-14 《和歌山城・南側》
3. 展示資料数	22件27点
4. 会期	令和元年(2019)8月31日(土)～10月6日(日) ※開催日数 32日間 9時30分～17時(入館は16時30分まで)
5. 休館日	9月2日(月)・9日(月)・17日(火)・24日(火)・30日(月)
6. 入館料	一般280円(220円)・大学生170円(140円) ※()内は20人以上の団体料金 ※高校生以下、65歳以上、障害者、和歌山県内に在学中の外国人留学生は無料 ☆9月8日(日)は、「関西文化の日プラス」により、どなたも入館無料です。
7. 関連行事	ミュージアムトーク(学芸員による展示解説)いずれも13時30分から(約60分) 9月1日(日)・15日(日)・21日(土)・29日(日)、10月5日(土) 会場:博物館1階 企画展示室 申込:不要 入館手続:要 ☆9月5日(木)に、ICOM(国際博物館会議)京都大会2019関連事業として、当館と和歌山県立近代美術館で、CECAオフサイトミーティングが開催されます。
8. 担当者	和歌山県立博物館 学芸員 袴田舞 TEL:073-436-8670(代表) E-Mail: admin@hakubutu.wakayama-c.ed.jp

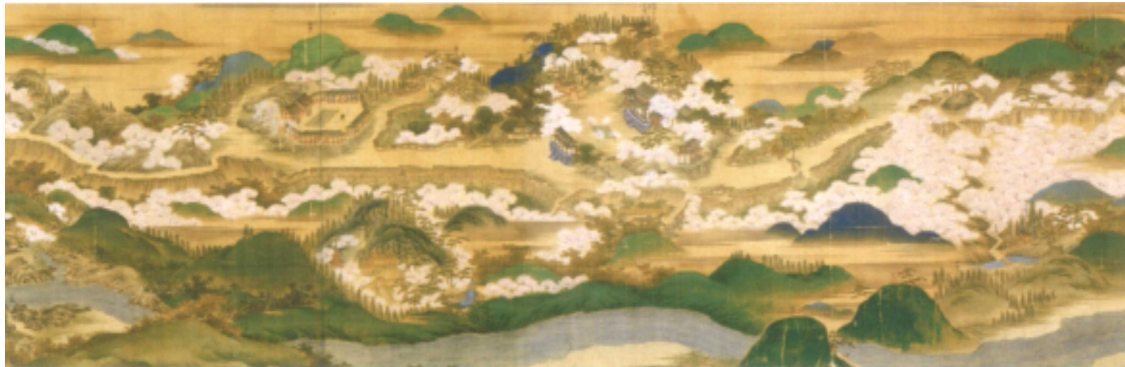
※詳細は、裏面のみどころ、別添のチラシをご覧ください。

※資料カラー画像をご提供できます。上記メールアドレスに、その旨ご連絡下さい。

展示のみどころ

①和歌山にいながら全国を旅できる

江戸時代、風景を描いた絵は、旅に出ることができない人の心も楽しませました。この企画展でも、和歌山にいながらにして、富士山、松島、琵琶湖など、日本全国に広がる景勝地への旅に出かけた気分になるような絵を展示しています。吉野や熊野など、紀伊半島のダイナミックな自然を描いた絵も紹介します。



よしの すかん
「吉野図巻」
やぐらあんあん
矢倉 安安筆

和歌山県立博物館蔵

②「真景図」をリードした紀州の画家たち

雄大な山水に恵まれた紀州(和歌山)では、紀州三大文人画家に数えられる桑山玉洲くわやまぎよくしゅうなど、江戸時代の真景図を代表する画家が生まれました。当時あこがれの先進国であった中国文化の影響を強く受けた画家たちは、中国絵画の技法を取り入れながら、実感にあふれた紀州の風景を描いています。



和歌山市指定文化財 「那智山・熊野橋柱巖図屏風」 桑山玉洲筆 念誓寺蔵

③滋賀県立近代美術館コレクションを公開

滋賀県立近代美術館は、2017年4月より、リニューアル整備のため長期休館しています。この企画展では、整備にともなって和歌山県立博物館で一時的に保管している滋賀県立近代美術館コレクションのうち、全国の風景を描いた江戸時代の絵画を公開します。和歌山ではなかなか見られないコレクションを、ぜひこの機会にご覧下さい。



まつしましんけい すかん しまざきぎよくえん
「松島真景図巻」 島崎玉洲筆 滋賀県立近代美術館蔵

 **和歌山県立博物館**
http://www.hakubutu.wakayama-c.ed.jp
〒640-8137 和歌山市吹上1-4-14 TEL.073-436-8670 FAX.073-423-2467
WAKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM
—和歌山城・南側—